

日本大学文理学部体育学科

同窓会会報

同窓会会員
13,790名
(2022年現在)

目次:

会長挨拶	1
令和3年度事業報告 インフォメーション	2
退任のご挨拶・同窓生の活躍	3
同窓生の活躍	4
新体育館（SSGC）のご紹介	5
体育学科の「今」	6・7
体育学科及び同窓会からのお知らせ	8



ご挨拶

初めに、3月末に「まん延防止等重点措置」が解除され、スポーツ観戦など少しずつ日常が戻りつつありますが、感染者数は高止まり傾向が見られ予断を許さない状況です。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、ウクライナでの悲惨な映像を見るのは本当に忍びなく一日も早い平和を願うばかりであります。

体育学科同窓会員の皆様には、日頃から本会の諸事業にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年度はコロナ禍において様々な事業が中止となりましたが、本学の卒業式と入学式は日本武道館で無事執り行われました。4月から対面式の授業となり、多くの学生が登校しキャンパスは活気にあふれています。また、令和4年3月18日（金）に学内に「サクラスポーツ&ジムナステックスセンター」の名称で、新しい体育館が竣工いたしました。1階に多目的ホールを設け、卓球場やダンスルームとして活用し、2階には体操場があります。お時間がありましたら是非一度お立ち寄りいただければと思っています。

今年度はコロナだけでなくウクライナの状況によっては、今後の社会や経済等への影響も懸念されます。同窓生同士の連携・連絡を更に密にして、この厳しい状況を乗り切ろうではありませんか。母校への感謝の気持ちと在校生への支援に向けた事務局運営に影響が出ないよう、会費納入のご協力もよろしくお願い致します。

今年の各種事業につきましては、社会情勢を注視しながら同窓会ホームページ等を活用して皆さまにお知らせしてまいります。皆様方から活動等についてご意見がございましたら同窓会事務局までご連絡下さい。

結びに、母校の益々の発展、会員の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして挨拶いたします。

同窓会会長 小野 力



令和3年度 事業報告

【体育学科同窓会代議員会】

令和3年度も、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止の観点から、対面での開催は中止といたしました。Googleドライブにて資料共有を行い、事業や会計について稟議いたしました。

また、令和3年で体育学科同窓会が60周年を迎えた記念として、体育学研究室に保管されている実習体育祭の映像データをデジタル化する事業が提案され、承認されました。デジタル化された映像は、肖像権や使用曲の著作権等の問題があり段階を踏む必要がありますが、HP等から同窓生の皆様にご覧いただけるように準備を進めております。

令和4年度の開催方法については決定しておりませんが、多くの同窓生の皆様にご参加いただければと考えております。

ご多用のところ、ご協力いただきました同窓生ならびに関係者の皆様、誠にありがとうございました。

【冬季スキー指導者研修会】

第46回、第47回の冬季指導者研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となりましたが、今回第48回は参加定員を減らし、参加者全員に健康観察記録の提出をお願いし、宿舎での理論研修、懇親会を取りやめ、感染症拡大予防対策のもと開催しました。参加申込をいただいた方々には、急遽の中止、日程変更もありえることを承知いただき、令和4年3月26日(土)～29日(火)の日程で、新潟大学の五十嵐久人先生、東京音楽大学の寺島伸一先生、日本大学松戸歯学部

の橋口泰一先生を講師として、これまでと同じ志賀高原スキー場で実施いたしました。一部日程に体育学科専任教員の伊佐野龍司先生にもご参加いただきました。参加者は、定員を減らしていたため講師3名に対して12名と少なめでしたが、とても手厚く、充実した講習ができ、参加者には大変満足いただけたようです。

例年ご参加いただいている方々のうち、コロナ禍のため参加を見合わせる方も多かったです。このコロナ禍が終息し、また多くの方が安心して参加できるようになることを願っております。(第35期 重城 哲)



【中止となった行事】

- ・ホームカミングデー
- ・地方講演会

インフォメーション

体育学科ではホームページやSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を活用して、体育学科生の様子に加えて、同窓生の活躍など、様々な情報を発信しております。

また、昨年度のダンス発表会ではInstagramのライブ配信機能を使い、生配信を行いました。

より身近に体育学科の「今」を感じていただけたと思いますので、ぜひご覧ください。



体育学科Twitter
<https://twitter.com/TAIIKUJIMU>



体育学科Instagram
https://www.instagram.com/nihon_univ.pe/



体育学科ホームページ
<http://www.nu-taiiku.jp/>



体育学科Facebook
<https://www.facebook.com/taiiku.nu>

退任のご挨拶

水落 文夫

日本大学文理学部 元教授

【主担当科目：スポーツ心理学】



日本大学文理学部体育学科に入学したのが1975年でした。そこから学部4年、大学院2年、歯学部勤務20年、そして文理学部に戻って20年と、合わせて46年間、日本大学にお世話になったことになります。この間、多くの方々に助けていただきながら、何とか退任できたことをまずは感謝したいと思います。皆様、本当にありがとうございました。

私の進路決定は大学進学の出発点から、強い自分の気持ちで決断したことはありません。流れに乗ったらここにいた、という感じでした。これまで体育学科のスポーツ心理学を担当された先生方は、松井三雄先生、藤田厚先生といずれも著名な研究者で、その後を引き継ぐ私にはあまりにも大役でした。自信をもって赴任したわけではありません。しかし、ある先輩先生からいただいた「後を継ぐ人を育てることも教授の務めだよ」という言葉は今でも私の心に残っています。今、振り返るとそれだけは貢献できたように思います。その秘訣は、余計な干渉をしない、強いて言えば「何もしない」ことでした。体育学科の学生や院生たちの自由な発想や希望に対して、古い価値観で「無理！」と諦めさせることの怖さを学びました。彼らは覚悟を決めれば、何もしない方が伸びていくようです。

日大そして体育学科での教員生活は長かったですが、どこにその足跡を残せたかと考えれば、周りで見守ってくれている教え子のOBたちかなと勝手に少しだけ自負するものです。

同窓生の活躍

第54期 中里 俊基

第42回実習体育祭 総務／第43回実習体育祭 委員長

東京都日野市役所 職員



第54期卒業生の中里俊基と申します。

体育学科に在学中は、野球サークルに所属しながら、実習体育祭の実行委員会にも所属していました。

現在は、東京都日野市で市役所職員として勤務し、補助金や施設の管理などを通して市内中小企業者への支援を行っています。

2020年から、日本のみならず世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響により、中小企業者の状況は一変しました。これまで通りの営業ができない中、中小企業者、また関連する従業員の方たちの生活をどうやったら守れるか、といった視点で日々業務にあたっています。

市役所内部の業務もこれまでとは大きく変わりました。窓口にはパーテーションが設置され、市民の方との会話もかなり行いづらな状況になりました。ただ、悪いことばかりではありません。これまで、お世辞にも先進的とは言えない設備であり、会議があれば何時間もかけて出張することも当たり前でした。しかし、今回のことをきっかけにWeb会議用の環境も整い、わざわざ時間をかけて出張することもなくなりました。また、リモートワークの環境も整備されたことで、家庭の都合により出勤が難しい場合でも、自宅での勤務が可能となり、職員それぞれのワークライフバランスに応じた働き方を実現することもできています。

新型コロナウイルスの影響により、大変な状況にはなりましたが、それをきっかけに進んだこともあります。

体育学科の卒業生として大学時代の経験を糧に、どのような状況でも、今できるベストを考え、市民の皆様安心して日野市に住み続けていただけるよう、業務に臨みたいと思います。



同窓生の活躍【2022年北京オリンピック日本代表4選手】

第42期 石田 正子【クロスカントリースキー】

北京オリンピックは私自身、5度目のオリンピックとなりました。今回のクロスカントリーコースは非常に風が強く、気温以上に体感温度が寒く感じられて、どれだけウォーミングアップをしたり服を着ても寒く感じながらの試合になりました。ゴール後でも係の人が毛布をもって、待っていてくれるなど、過酷な条件でのレースが多かったです。特に最終日は30キロの長距離レースだったので、試合中に体を冷やさないようにアンダーウェアや靴下を2枚重ねて試合に臨みました。結果、ゴールまで体が冷えることなく走り切れて本当に良かったです。

コロナ禍という状況と会場の環境の厳しさが相まって、今までのオリンピックとは一味違った大会でした。それでも、コロナにならず、そして実力を出し切れたのは本当に良かったです。良い成績は残っていないですが、色々な過酷な状況でも頑張り切る力を得た大会だったと思います。

応援をしていただき本当にどうもありがとうございました。



第58期 児玉 美希【クロスカントリースキー】

日頃よりご支援ご声援ありがとうございます。今回、クロスカントリースキー日本代表として北京オリンピック2022に出場することが出来ました。支えてくださる方々に感謝の気持ちで一杯です。

オリンピックは小さな頃からの夢で、憧れの存在でした。小学生の頃、テレビの画面で見ていた世界の選手と今こうして同じ舞台上で競い合っているということに、とても感慨深い気持ちになりました。

ここに至るまでには、きつい練習を乗り越え、沢山悩み考え、楽しいだけではない日々を過ごしましたが、上手いかわない時には、日本大学で学んだ基礎基本に立ち返ることで修正していくことが出来ました。また後輩の在学生の皆さんと練習を共にすることで新たな感覚が得られることもあり、色々な場面で日本大学での経験が今の私を作っているのだと感じます。

目標であった8位入賞を達成できず、悔しさが大きく残るオリンピックではありましたが、悔しさも含めこの経験をこれからの競技人生、そしてその後の人生にも生かしていければと思います。

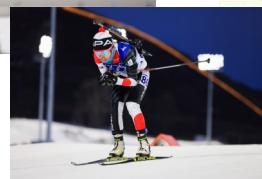
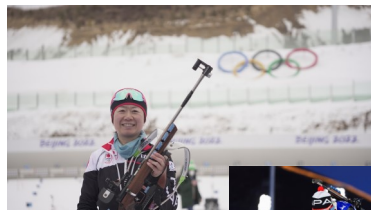
引き続きご指導ご声援宜しくお願い致します。



第50期 田中 友理恵【バイアスロン】

北京オリンピック出場を果たすまでの日々を思い返すと様々な苦難がありました。特に、平昌オリンピック後は怪我で肩の手術とリハビリを経験しました。競技に復帰できるのか？という不安もありましたが、またオリンピックの舞台上で走りたい！という強い想いを持って取り組み、目標を叶えることができて良かったです。オリンピック出場は私1人だけの力ではなく、周囲の皆さまからの応援や支え、サポートがあり実現できたと思います。

私は、3月のワールドカップをもって現役を引退しました。ビッグリザルトは残せませんでしたが、各国を飛び回り、世界に挑戦し続けたことは貴重な経験になりました。これから新しい人生が始まりますが、競技生活で得たことを糧に今後も自分らしく人生を歩んでいきたいと思っています。今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



第58期 土屋 正恵【クロスカントリースキー】

2018年度日本大学文理学部体育学科卒業の土屋正恵です。

私は小学3年生から17年間クロスカントリースキーを続けていて、大学卒業後は青森県企業の弘果SRCに所属し、仕事をしながら競技を続けています。新型コロナウイルスが蔓延してからは思うように練習をすることができないうえ、大会等も中止になり、モチベーションを保つことが難しい時期もありました。しかし皆様からのご指導やご鞭撻のおかげで、辛い時期を乗り越え、今回のオリンピック出場を果たすことができました。4年に一度の夢の舞台であるオリンピックに出場できたことは、今後の競技人生に必ず生きてくると思っています。

新型コロナウイルスの終着はまだ先になりそうですが、今できることをしっかりとこなし、一年一年頑張っていきたいと思っています。

引き続きご支援ご声援のほど、宜しくお願いします。



新体育館「サクラスポーツ&ジムナスティックスセンター(SSGC)」のご紹介

令和4年3月18日に新体育館「サクラスポーツ&ジムナスティックスセンター(通称:SSGC)」が竣工いたしました。1階は多目的ルーム、ダンスルーム、体育学演習室があり、2階は体操場があります。

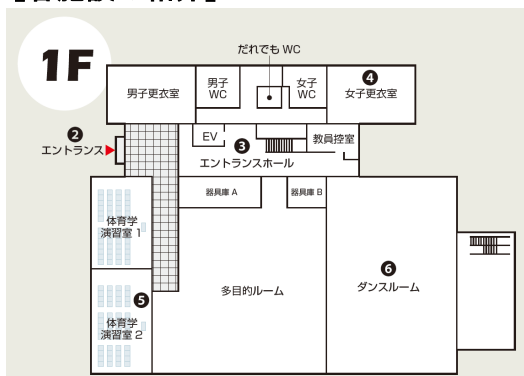
4月より器械運動やダンス、卓球をはじめとした様々な授業で利用されています。第2体育館は残念ながら経年劣化もあり、取り壊しが決まっていますが、その跡地にはまた新たな食堂等の建設が計画されています。



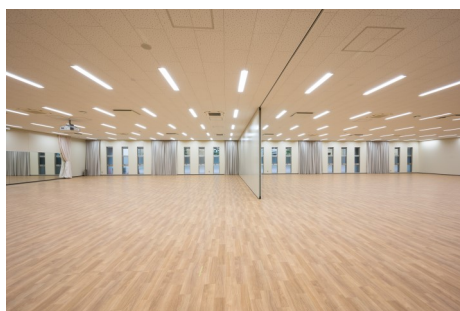
【SSGCができるまで】



【各施設の紹介】



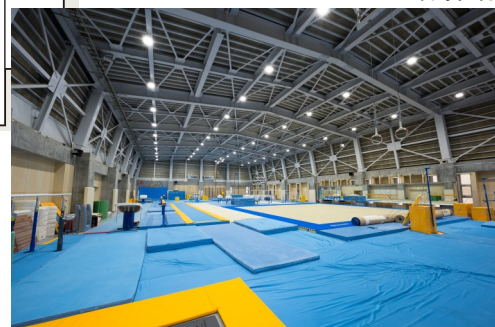
エントランス



ダンスルーム／多目的ルーム



体育学演習室



体操場

体育学科の「今」

【 野外実習 】

オーシャンスポーツ 2021/8/3～6,12

コロナ禍ということで、初の日帰り開催となりましたが、感染対策を十分に講じて今年の遠泳も無事完泳しました！

@千葉県 岩井海岸



アイススポーツ 2021/9/13～17

コロナ禍ということで、5日間の日帰り開催となりました。短い時間の中でスケーティング技術を習得し、シンクロナイズドスケーティングやアイスホッケーにも挑戦しました！

@神奈川県 横浜銀行アイスアリーナ



キャンプ 2021/8/17,24

聖パウロ学園高等学校(東京都八王子市)のパウロの森での日帰り実習と、文理学部内での講義・実習を行いました。パウロの森くらぶインストラクターのご協力の下、自然観察・タープ張り・火起こし・薪割りに挑戦しました。

@東京都 パウロの森



スノースポーツ 2021/12/26～29

感染対策を行いながら、何とか宿泊で実習を行うことが出来ました。今年は雪も多く、良い環境でスノースポーツを楽しむことができました！

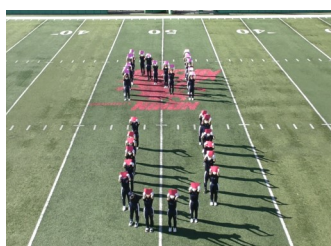
@長野県 高天ヶ原スキー場



【 実習体育祭 】

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止の観点から、実習体育祭は開催することを中止いたしました。しかしながら、実習体育祭委員が中心となり、体調管理・場所・時間・人数・方法を検討し、感染予防対策に努めた上で練習を積み重ね、マスゲーム(2・3年生のみ)を実施することができました。映像には映りませんが、学生たちは本番に至るまでに多くの協議や管理をオンラインで進めて参りました。コロナ禍における行事運営は想像以上に苦労がありましたが、仲間と共に「今何ができるのか」を考えることは、学生たちにとって大きな学びとなりました。撮影したマスゲームは体育学科のYouTubeチャンネルにて公開しております。ぜひ、ご覧ください。

今後も感染予防に努めながら、現状に応じた実習体育祭を学生が主体となり模索して参ります。引き続き、体育学科生の動向を暖かく見守りください。



【 創作ダンス発表会 】

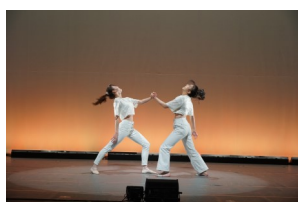
昨年度の創作ダンス発表会は、新型コロナウイルスの感染対策として、無観客で行いました。

コロナ禍一年目で入学してきた学生たち。2年生となった前期は遠隔授業が続き、ダンスの授業もzoomにて話し合いや振付を行っておりもどかしさがありましたが、後期には対面授業で創作活動を意欲的に行いました。

感染対策として、5人前後のグループ構成としましたが、広い舞台で照明を浴び、学生たちは身体全体を使い、心を込めて表現しました。

学生からの要望もあり、Instagramでのライブ配信という新しい試みも行いました。また発表会動画を体育学科HPに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

今年は感染状況を踏まえながら、学生たちの成果発表の場を皆様にご覧いただけるよう観客動員の可能性を探っていきたいと思います。



同窓会事務局より

昨年度も、文理学部の行事をはじめ、同窓会事業も中止せざるを得ない1年となりました。今年度は対面での授業も再開され、大学構内に人が戻りつつあります。まだまだ油断はできませんが、同窓会事業も徐々に再開に向けて準備をしていきたいと考えておりますので、同窓生の皆様にもご協力いただけますと幸いです。

日本アプライドスポーツ科学会(旧:桜門体育学会)より

昨年度より、桜門体育学会は【日本アプライドスポーツ科学会】に名称を変更し、新たなスタートを切っております。今年度の学会大会は、日本大学工学部が主幹となり、オンライン形式での実施を予定しております。学会会則や大会案内等は、日本アプライドスポーツ科学会ホームページ(<http://www.nu-taiiku.jp/society>)をご覧ください。

令和4年度体育学科年間行事

※新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により、中止・延期となる場合があります。

科学実験・文化フェア(百周年記念館)	7月16日(土)
夏季オープンキャンパス(文理学部キャンパス)	7月17日(日)
オーシャンスポーツ実習(千葉県・岩井海岸)	8月3日(水)～6日(土)
キャンプ実習(山梨県・尾白の森キャンプ場)	9月中旬予定
秋季オープンキャンパス(文理学部キャンパス)	9月25日(日)
文理学部ホームカミングデー(文理学部キャンパス)	11月5日(土)
実習体育祭(日本大学アメリカンフットボール場)	11月中旬予定
創作ダンス発表会(百周年記念館)	12月5日(月)
スノースポーツ実習(長野県・高天ヶ原スキー場)	12月25日(日)～28日(水)
アイススポーツ実習(山梨県・富士急ハイランド)	2月6日(月)～8日(水)

令和4年度同窓会行事

※各行事の詳細は決定次第、HP等でお知らせいたします。

ホームカミングデー・代議員会	11月5日(土)
冬季スキー指導者研修会	3月下旬

【事務局より会費納入のお願い】

今年度会費納入の対象となっている同窓生には、払込取扱票を同封しております。そちらの用紙をお使い頂き、郵便局またはコンビニエンスストア等でお支払をお願い致します。同窓生の皆様には大変ご負担をお掛け致しますが、事業を円滑に進めていく上で皆様のご理解ご協力を賜りたいと存じます。

<納入対象卒業期>

1期(S36卒)、6期(S41卒)、11期(S46卒)、
16期(S51卒)、21期(S56卒)、26期(S61卒)、
31期(H2卒)、36期(H7卒)、41期(H12卒)、
46期(H17卒)、51期(H22卒)、56期(H27卒)

編集後記

お世話になった教員のご退職、第2体育館の取り壊し、新体育館の竣工とキャンパスも次第に変わっております。また、コロナ禍といわれ、本誌においても「新型コロナウイルス感染症対策…」が多くなりました。対面での授業が当たり前と考えていた実技や実習においても、リモート、メディア、ハイブリッド、ハイフレックスと様々な形態の授業が実施されるようになり、急激な変化がありました。新年度となり、徐々に制限が解除され、対面での授業も実施されておりますが、まだ継続する制限もあり、いわゆる「ウィズコロナ」として、大学では引き続き同感染症対策を講じながら、教育、研究機関としての機能を維持しなければならず、多くの困難があると思います。変化や新しいものには、不安と期待が入りまじりますが、変わらずにあり続けるものは、落ち着きや安心感をもたらしてくれるのではないのでしょうか。本年度も同窓会事業の実施の可否は、社会状況により慎重に判断することになりますが、皆様の同窓会としては、変わらず真摯にあり続けますので、体育学科とともにあたたかく見守ってください。(第35期 重城 哲)

編集 体育学科同窓会広報委員会
〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部 体育学研究室
発行人 小野 力

メール taiiku.doso@gmail.com
TEL 03-5317-9717
FAX 03-5317-9426
ホームページ http://www.nu-taiiku.jp/alumni_association